

ピョンヤン宣言から 16 年

# 日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会

4月27日、分断と対立の象徴であった板門店で南北首脳会談が開催され歴史的な「板門店宣言」が発表されました。また6月12日には世界が注目した史上初の朝米首脳会談がシンガポールで開催され朝米共同声明が発表されました。朝米両国の劇的な関係改善は長きにわたり対立してきた東アジアの冷戦の終結を意味し、これは南北の融和と東アジアの平和勢力がもたらしたものと私たちは考えます。

一方日本政府は朝鮮への独自「制裁」措置を続けるなど朝鮮敵視政策を強めています。

本集会には、朝鮮大学校の李柄輝さんを講師としてお招きし、激動する朝鮮半島の情勢分析に基づいた日朝国交正常化への展望についてお話をお聞きします。

## 講演タイトル

### 『朝米首脳会談の意義と日朝関係の展望』

講師 **李 柄 輝**さん (朝鮮大学校文学歴史地理学部准教授)



1972年 大阪府生まれ

大阪朝鮮高級学校卒業後、朝青の専任として活動。

1998年 朝鮮大学校歴史地理学部卒業後、同校研究院社会科学研究所前期課程修了。

専攻は朝鮮現代史(解放後史)。論文に「朝鮮半島分断と在日朝鮮人社会の分断」(建国大学校人文学研究院編『疎通・治癒・統合の統一人文学』)、共訳に『現代朝鮮の悲劇の指導者たち』(明石出版社,2007)など。

昨今、急変する朝鮮半島情勢についてBSフジ「プライムニュース」、BS日テレ「深層ニュース」などのテレビ番組にも出演。

北南首脳会談前には「日本外国特派員協会」で講演も行う。

日 時 : 9月14日(金)

午後6時開場、6時30分開始

場 所 : エルおおさか  
709 会議室

(京阪・地下鉄 天満橋駅下車 徒歩7分)

参加費 : 800円(資料代として)

